

美術科学習指導案

日 時 2005年11月11日〔金〕

生 徒 俱知安町立東陵中学校1年 B組

授業者 教諭 齊藤 明子

1 俱知安町教育研究会 図工・美術部会研究主題

「たしかかな表現力を育てる指導のあり方」
～豊かな心や豊かな表現力をめさして～

2 俱知安町立東陵中学校校内研究 研究主題

「生徒が真剣取り組む授業の創造」～基礎・基本の充実・徹底を軸とした授業の展開～

目指す生徒像「基礎・基本を身につけ、学ぶ意欲を持つ生徒」

部会研究テーマ「自ら考え課題を持って意欲的にとりくむ授業の展開」

3 単元について

I 単元・教材名「友だちの顔【木版画・コラグラフ】」
～スケッチの楽しみ・版表現の楽しさ より～

12時間予定

II 単元目標

- ・ 身近な友だちをよく観察し、友だちの特徴や雰囲気を感じ取り、画材や自分の作風を生かして表現する。
- ・ 鑑賞作品や学習を通して、自分や友だちのよさに気づくことができる。

III 単元に当たって

対象物や風景などの形や印象をさまざまな画材によって簡単に写し取る「スケッチ」は、美術の表現の基礎基本であり、これは、身近なものの魅力を感じ取り、それらを大切にしながら、自分の持ち味を生かして描くことであり、写真のように描写する能力ではない。

また、スケッチを下絵として制作する「版画」も、彫刻刀で彫ることにこだわらずさまざまな材料の材質感をいかした「コラグラフ」の手法も取り入れ、表現に幅をもたせることも考えた。

今回、一つの手法に限らず、さまざまな表現方法の提示により、写真のようにそっくりに描かねばならないという先入観などを払拭し、絵を描くことは楽しいことなんだという経験を味あわせたい。また、それと同時に、お互いのよさを発見し、認め合う心を大切にさせたいと考えている。

IV 単元計画 12時間予定

- 1 「スケッチ」【作品鑑賞、画材・表現方法の理解、スケッチ】・・・4時間【本時・2時間目】
- 2 「版表現」【版表現の理解、和紙、ベニヤ板への転写】・・・1時間
- 3 「版表現」【彫りの練習と彫り】・・・4時間
- 4 「版表現」【試し刷りと本刷り】・・・2時間
- 5 鑑賞 ・・・1時間

V 生徒の実態

堅実な態度で制作にとりくみ、完成度の高い作品づくりができる。

効果的な表現の工夫ができる。〔筆使い〕

鑑賞などの場面では、さまざまな考えを発表することができる。

VI 本時の学習

本時の目標

友だちの雰囲気や特徴を感じ取り、自分に合った表現方法でスケッチを楽しむことができる。

VII 本時案

| 学習の流れ | 生徒の活動 | 教師のはたらきかけ ねらい | 指導上の留意点 学習形態【集団】 |
|------------|--|--|--|
| 導入 15分 | <p>①前時をふりかえる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・作品をみる ・モデルの人柄や雰囲気を想像する ・どんな画材が使われているか確認する ・どのように使われているか、表現技法を確認する ・どんなところに気をつけて描いているか確認する <p>②本時の課題を知る。</p> | <p>①モデルの人柄や雰囲気を出すためには、その表現にふさわしい画材、表現技法 顔のパーツの確認等が大切なことに気づかせる。</p> <p>②本時の課題を提示する。</p> | <p>全【6グループ】</p> <p>→個</p> <p>※作風の違うスケッチ作例等 黒板準備</p> <p>※グループごとに画材準備 鉛筆、木炭、練り消しゴム、 キッチンペーパーなど</p> <p>※必要に応じてマグネツ式の 顔のパーツを用意</p> |
| | <p>友だちの人柄や雰囲気（らしさ）を出そう</p> | | |
| | <p>③モデルの友だちらしさを出すためにはどんなことを工夫したらよいか目標をたてる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・こうすれば、こうなる・・・ ・こんなこともできるかな・・・ | <p>③作品例を参考に読みをもたせ、スケッチを楽しむ心のゆとりをもたせる。</p> | <p>個</p> <p>※自分自身で考え、納得しながら制作させるようにする</p> <p>※プリント</p> |
| 展開 20分 | <p>④モデルとなる友だちをよく観察し、雰囲気や特徴を大切にしながら形やバランスを考えて描く。</p> | <p>④モデルをどれだけ観察し、どれだけ発見したかで作品が変わることを理解させる。</p> | <p>個</p> <p>※漫画にならないように注意</p> |
| まとめ 15分 | <p>⑤互いの作品を鑑賞し、そのよさを感じ取り、次回へつなげる。</p> <p>⑥自己評価〔目標の反省、次回への課題など〕・あとしまつ</p> | <p>⑤作者の意図を考えさせる。鑑賞者と作者両者相互の交流を促す。</p> | <p>全・個</p> <p>※いくつかの作品をピックアップして黒板へ 肯定的な発言を促す 自己の行動に責任を持ち、改善していかせる プリント</p> |

VIII 本時の評価

友だちの特徴や雰囲気を感じ取り、自分に合った表現方法でスケッチを楽しむことはできたか。